

IV 調査結果の要約

IV 調査結果の要約

1. 読書活動について

○読書が好きかどうか（問7）

読書が好きかどうかをたずねた。「どちらかといえば、好き」が38.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば、嫌い」が27.0%、「好き」が26.0%となっている。

○過去1か月間で読んだ本の数（問8）

過去1か月間で読んだ本の数をたずねた。「1～5冊」が50.8%と最も高く、半数を超えている。次いで「0冊」が33.3%、「11冊以上」が8.3%となっている。

○読書をしない理由（問8-1）

問8で「0冊」と回答した方を対象に、読書をしない理由をたずねた。「読書をする時間がない」が42.5%と最も高く、次いで「本を読むのがめんどろ」が32.6%、「読みたいと思う本がない」が23.0%となっている。

○身近な人から本を読んでもらった経験（問9）

身近な人から本を読んでもらった経験をたずねた。「よく読んでもらった」と「ときどき読んでもらった」を合わせた『読んでもらった』は49.1%である。一方、「あまり読んでもらえなかった」と「読んでもらえなかった」を合わせた『読んでもらえなかった』は50.2%と半数を超えており、『読んでもらった』より1.1ポイント高い。

○子どもに本や絵本を読んだ経験（問10）

子どもに本や絵本を読んだ経験をたずねた。「よく読んだ」と「ときどき読んだ」を合わせた『読んだ』は59.4%と6割弱となっている。一方、「あまり読んでいない」と「まったく読んでいない」を合わせた『読んでいない』は39.6%である。

○子どもへの読書のきっかけづくりで行っていること（問11）

子どもへの読書のきっかけづくりで行っていることをたずねた。「特にしていない」が35.9%と最も高く、次いで「子どもが読みたい本を与える」が31.8%、「家に本を置く」が23.2%、「子どもと一緒に書店に行く」が21.7%となっている。

○子どもの読書への必要な取組（問12）

子どもの読書への必要な取組をたずねた。「読書する時間をしっかりとる」が33.6%と最も高く、次いで「本を読み聞かせる」が33.0%、「図書館・学校で読書の楽しさを教える」が30.0%となっている。

○「ひがしおおさか電子図書館」の認知度（問 13）

「ひがしおおさか電子図書館」の認知度をたずねた。「まったく知らない」が 73.3%と最も高く、次いで「聞いたことがある程度」が 13.9%、「内容も含めて知っているが、利用したことはない」が 7.9%となっている。

2. 情報通信機器の利用について

○普段利用している情報通信機器（問 14）

普段利用している情報通信機器をたずねた。「スマートフォン」が 86.8%と最も高く、次いで「パソコン」が 34.2%、「タブレット」が 18.5%となっている。

○利用の仕方がわからないときの解決方法（問 14-1）

問 14 で「スマートフォン」「タブレット」と回答した方を対象に、利用の仕方がわからないときの解決方法をたずねた。「家族や知人に教えてもらった」（60.2%）と「Yahoo!や Google などの検索エンジンで検索した」（57.4%）で 6 割前後と他に比べ高い。また、「諦めて利用をやめた」は 5.4%となっている。

○情報通信機器を利用したいか（問 14-2）

問 14 で「利用していない」と回答した方を対象に、情報通信機器を利用したいかどうかをたずねた。「利用したいが、使いこなせる自信がない」と「利用したいが、そのほかの理由がある」を合わせた『利用したい』は 46.0%となっている。一方、「必要性を感じていないので、利用したいと思わない」は 47.0%となっており、『利用したい』より 1.0 ポイント高い。

○活用したい市からのサポート（問 15）

活用したい市からのサポートをたずねた。サポートの内、「スマートフォンの操作や困りごとについての個別相談会」が 17.7%と最も高く、次いで「スマホ教室」が 14.3%、「タブレットの貸出」が 9.7%となっている。

○スマホ・タブレット教室の内容（問 15-1）

問 15 で「スマホ教室」「タブレット教室」と回答した方を対象に、その内容をたずねた。「基本操作」（57.4%）、「アプリの使い方」（54.9%）が半数を超えており高い。次いで「スマホ決済サービスの使い方」が 45.6%、「インターネットの使い方」が 35.4%となっている。

3. スポーツ実施実態及びウィルチェアスポーツについて

○1 日 30 分以上の運動を週に 2 回以上行うか（問 16）

1 日 30 分以上の運動を週に 2 回以上行うかどうかをたずねた。「はい」が 32.6%、「いいえ」が 66.6%となっている。

○1日30分以上かつ週に2回以上の運動を1年以上継続しているか（問16-1）

問16で「はい」と回答した方を対象に、1日30分以上、かつ週に2回以上の運動を1年以上継続しているかどうかをたずねた。「はい」が83.3%、「いいえ」が16.0%となっている。

○1年間に運動・スポーツを実施した日数（問17）

この1年間に運動・スポーツを実施した日数をたずねた。「週に5日以上（年251日以上）」「週に3日以上（年151～250日）」「週に2日以上（年101～150日）」「週に1日以上（年51～100日）」を合わせた『週1日以上』は39.2%となっている。一方、「月に1～3日（年12～50日）」「3か月に1～2日（年4～11日）」「年に1～3日」を合わせた『週1日未満』は22.1%となっており、「全くやっていない」は28.2%となっている。

○1年間で実施した運動・スポーツの内容（問18）

この1年間で実施した運動・スポーツの内容をたずねた。「ウォーキング（散歩含む）」が46.3%と最も高く、次いで「体操（ラジオ体操・美容体操など）」が25.6%、「自転車・サイクリング」が14.6%となっている。

○1年間に運動・スポーツを実施した場所（問19）

この1年間に運動・スポーツを実施した場所をたずねた。「道路」が31.1%と最も高く、次いで「公園」が23.0%、「山岳・森林・海・湖・川などの自然環境」が12.2%となっている。

○運動・スポーツをする目的（問20）

運動・スポーツをする目的をたずねた。「健康のため」が55.0%と最も高い。次いで「運動不足を感じるから」が32.5%、「楽しみ・気晴らしとして」が31.3%となっている。

○東大阪市立ウィルチェアスポーツコートの認知度（問21）

東大阪市立ウィルチェアスポーツコートの認知度をたずねた。「知らない」が86.9%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことがない」が10.7%、「知っていて、利用したことがある」が0.2%となっている。

4.「健康」に対する意識と生活習慣の実態について

○飲酒頻度（問22）

飲酒頻度をたずねた。「飲まない」が39.9%と最も高く、次いで「たまに飲む」が30.6%、「ほとんど毎日、または週に何回か飲む」が28.7%となっている。

○飲酒量（問22-1）

問22で「ほとんど毎日、または週に何回か飲む」と回答した方を対象に、1日の飲酒量をたずねた。「1～3合」が51.2%と最も高く、半数を超えている。次いで「1合未満」が38.4%、「3合以上」が10.1%となっている。

○「節度ある適度な飲酒」の認知度（問 23）

「節度ある適度な飲酒」の認知度をたずねた。「知っている」が 36.0%、「知らない」が 55.5%となっている。

○地域とのつながり（問 24）

地域とのつながりについてをたずねた。「①あなたのお住まいの地域の人々は、お互いに助け合っている」の間について、「強くそう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は 32.3%、「どちらかといえばそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』は 26.2%となっている。

「②あなたは地域の人々と、お互いに助け合いたいと思っている」の間について、「強くそう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は 53.6%、「どちらかといえばそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』は 10.4%となっている。

○休養・こころの健康づくり（問 25）

過去 30 日間の休養・こころの健康づくりについてたずねた。①～⑥全てにおいて「全くない」が最も高く、②③⑤⑥は半数を超えている。次いで「少し」「ときどき」となっている。「たいてい」と「いつも」を合わせると、①は 9.2%、④は 7.0%、②③⑤⑥は 5%台となっている。

○新型コロナウイルス感染症の影響（問 26）

新型コロナウイルス感染症の影響をたずねた。「はい」が 29.4%、「いいえ」が 67.4%となっている。

○COPD・ロコモティブシンドロームの認知度（問 27）

COPD・ロコモティブシンドロームの認知度をたずねた。「言葉も意味も知らなかった」が「(1) COPD」「(2) ロコモティブシンドローム」ともに最も高く、6割半となっている。

5. 大型ごみ収集有料化後のごみに対する意識や排出方法について

○大型ごみ収集を申し込んだ経験（問 28）

大型ごみ収集を申し込んだ経験をたずねた。「ない」が 29.8%と最も高く、次いで「ある（有料化の前後どちらも）」が 25.5%となっている。有料化前後を比較すると、「ある（有料化前：平成 30 年 7 月以前）」が 24.2%と「ある（有料化後：平成 30 年 8 月以後）」の 18.7%を 5.5 ポイント上回っている。

○大型の物を慎重に購入するよう意識するか（問 29）

大型の物を慎重に購入するよう意識するかどうかをたずねた。「はい」が 39.0%と最も高く、次いで「いいえ」が 31.7%、「どちらともいえない」が 28.1%となっている。

○大型の物を長く使おうと意識するか（問 30）

大型の物を長く使おうと意識するかどうかをたずねた。「はい」が 38.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 31.3%、「いいえ」が 29.3%となっている。

○大型の物が不用になった際に工夫したこと（問 31）

大型の物が不用になった際に工夫したことをたずねた。『分解や、分別をして「燃えるもの」「もえない小物」の日に排出する』が 61.6%と最も高く、次いで「販売店に相談し、可能であれば引き取ってもらう」が 35.7%、「知人に譲る」が 22.2%となっている。

6. 男女共同参画センター・イコーラムについて

○「男女共同参画センター・イコーラム」の認知度（問 32）

「男女共同参画センター・イコーラム」の認知度をたずねた。「知らない」が 71.8%と最も高く、次いで「知っているが、行ったことはない」が 20.6%、「知っていて、行ったことがある」が 6.2%となっている。

○「男女共同参画センター・イコーラム」を知った理由（問 32-1）

問 32 で「知っていて、行ったことがある」「知っているが、行ったことはない」と回答した方を対象に、「男女共同参画センター・イコーラム」を知った理由をたずねた。「市政だより」が 72.6%と最も高く 7 割強となっている。次いで「講座・イベントなどのチラシ」が 26.2%、「家族・知人」が 12.5%となっている。

○「男女共同参画センター・イコーラム」で行っている事業の認知度（問 33）

「男女共同参画センター・イコーラム」で行っている事業の認知度をたずねた。①～⑥全て「知らない」が最も高く、7 割を超えている。「知っていて、利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」を合わせた『知っている』は、「④ホール・研修室・学習室などの貸室」が 20.0%と最も高く、次いで「①男女共同参画に関する実践的な講座や講演会の開催」が 19.0%、「②女性のさまざまな悩みに対する電話や面接相談の実施」が 17.7%となっている。

○「男女共同参画センター・イコーラム」に期待するサービスや役割（問 34）

「男女共同参画センター・イコーラム」に期待するサービスや役割をたずねた。「再就職、起業に役立つ知識が学べるセミナー」が 29.3%と最も高く、次いで「市民が交流できる参加型のイベント」が 22.0%、「ボランティア・人材を育成する講座」が 21.6%となっている。

○情報紙「HOW（ハウ）」の認知度（問 35）

情報紙「HOW（ハウ）」の認知度をたずねた。「知らない」が 88.9%と最も高く、次いで「知っているが、ほとんど読まない」が 5.6%、「知っていて、時々読んでいる」が 3.1%となっている。

